

自己評価総括書

令和 6 年 1 月 2 4 日
尾道市立高西中学校

1 ミッション

「中学校区で取り組む『志プロジェクト』」の推進

2 ビジョン

高い志とふるさとに誇りを持ち「知りたい・学びたい・挑戦したい」があふれる学校

- 笑顔・感動・夢のある生徒（生徒）
- 安全で、安心して任せられる学校（学校）
- ふるさと学習、キャリア教育を推進する学校（地域）
- 教職員がやりがいを持って活動している学校（教職員）

3 重点課題における成果（○）と課題（●）

①主体的な学びの実現

○自らが設定した「なりたい自分」の実現に向け、「学びの地図」や「いきかたナビゲーション」等を通して、自立的に生活したり、学習したりする生徒の割合が増加した。

●自由進度学習や、選択肢のある学習の基盤として、協働的な学びができる学習集団づくりが必要であるという課題が出た。

②お互いの個性を認め合える集団の実現

○ 本年度より開設した「ほっとルーム」では、教室に入ることや学校にくることが難しい生徒など、ほっとルーム担任を中心に組織的にそれぞれの困り感や不安感に寄り添いながら、支援することができた。

○鶴羽ヶ丘音楽祭においては、「挑戦の機会」の充実と「感動体験」の共有を目指し、しまなみ交流館のホールで開催した。学校が一体となったこの経験は3年生のみならず、その3年生の勇姿を目の当たりにした1、2年生にとっても大きな財産となった。

●話し合い活動の必然性や話し合い活動の「質」、そして話し合った改善策の実施など、話し合いから話し合った後のプロセスに目を向けて、取り組む必要がある。

③教育の質を高める働き方改革の実現

○主任、主事への業務量の偏りの払拭並びにチームによる業務遂行に向けて、校務分掌表を大幅に改めた。

○「試験期間中の採点時間確保」「夏季休業期間中の校内研修日縮減」「水、金曜日の早期退校の促進」「入学説明会のオンデマンド開催」等、積極的に業務改善を図った。

4 今後の取組の方向、改善策等

①協働的な学びができる学習集団の育成を目指し、「集団としての課題」及び「指導の手立て」について校内研修等にて議論し、共通意識を持って授業改善に臨めるように取り組む。

②自分たちで創る学級や行事などの自治的風土の充実に向けて、行事をしっかりと仕組み、生徒に委ねることができるよう取組を進める。

③学校経営会議や衛生懇話会を通じて、教職員からのアイデアを吸い上げ、その実働化に努める。また、教育の質を高める「働き方改革」のR P D C Aをまわし、学校体制で推進する。

